

生命（いのち）の安全教育 動画を使用した授業展開例

幼児期「じぶんのからだ」

	活動内容	・予想される幼児の反応	○留意点 *支援
導入	1. 自分の体の大切さに気づく	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水で洗う</li> <li>・くすりをぬる</li>   <li>・手を洗う</li> <li>・うがいをする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 転んでひざを怪我した時、自分だったらどうするか子どもたちに考えるよう促す。</li> <li>* 自分の体を大事にするためにできることはなにか考えるよう促す。</li> </ul>
展開	2. 自分だけの大事なところを考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水着を着るとあたたかいから</li> <li>・水着を着ると浮かぶから</li> <li>・洋服が汚れないから</li> <li>・はずかしいから</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* プールに入る時、水着を着るのはなぜか、考えるよう促す。</li> <li>* お風呂に入るとき水着は着ていないのはなぜか、プールとお風呂の違いを考えさせる。</li> </ul>
	3. 自分の体の大事なところはどこか知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おしり</li> <li>・あたま</li> <li>・手</li> <li>など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 動画を一時停止し、自分の体の大事なところはどこか、考えさせる。具体的に「むね」「おしり」などの言葉やイラストなどを用いて示す。</li> <li>○水着でかくれるところが自分だけの大事なところで、いろいろな人に見せるところではない、ということ動画を視聴後もう一度指導者の言葉で伝える。</li> </ul>
	4. 自分だけの大事なところをさわられていやな気持ちになったらどうしたらよいかを知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「やめてっていう」</li> <li>・「おこる」</li> <li>など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 自分だけの大事なところをさわられていやな気持ちになったらどうするか、考えさせる。</li> <li>* 「いやだ」と断り、逃げる、安心できる大人に話す」のロールプレイングをする。指導者が、幼児の体に触ろうとする役、安心できる大人の役になり、子どもが「いや」「やめて」「だめ」などをいうシチュエーションを作って、断った後</li> </ul>

			安心できる大人に話すところまでを体験させる。
	5. いやなきもちになるときはどんなときか考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・強くおされる</li> <li>・こちょこちょしないで、というのにやめないなど。</li> </ul>	<p>* 動画の視聴後、びっくりしたり、いやなきもちになるときはどのようなときか、考えさせる。</p> <p>* 自分がいやだと思わなくても嫌だと思ふ友だちもいるのはどんな時か考えるよう促し、動画を視聴する。</p> <p>○必要であれば、スカートめくりや、トイレをのぞくなど、園でもある身近なケースを挙げ、このようなことはしてはいけないことを伝える。</p>
まとめ	6. どうしたらよいか発表する。		<p>* 自分の体、自分だけの大事なところがどこか、嫌な気持ちになったら時にどうするか、子どもに問いかける。</p> <p>* 動画とスライド資料、イラストなどを活用し、動画の視聴後、動画のポイントをスライド教材などで示す。</p>